

「あゆみ」 作・柴幸男

出演者

秋葉由麻  
鈴木亜由子  
長沼久美子  
藤吉みわ  
フタヲカルリ  
真嶋一歌  
山田マキオ  
吉田愛

ルール

「←」私の進行方向に向かって、進む。  
「→」私の進行方向とは逆に、戻る。  
「□」止まる。  
「IN」道の中へ、入る。  
「OUT」道の外へ、出る。

舞台設定

シンプルな舞台。客席の他にはほぼ何もない。  
舞台の中央にポッカリとあいた空間。  
空間の床のみ、何か装飾をしても良いかも。例えば、白、黒、模様。  
その空間を取り囲むように客席。

ここが「道」であり、「世界」であり、「時間」である。

すべての道はわたしにつながる。

空間の四隅には舞台奥へと続く、通路。

わたしたち、通路から順に入る。

8人は四隅に立ち、かかとやつま先の調子を確認、ほぐしたり、ストレッチしたりする者もいる。

互いに目配せをし、始まりを確かめ合う。

ふいに誰かが声を出しながら、歩きだす。

0 助歩

私 えーと私は、一生に、だいたい1億8千万歩ぐらい、歩きます。

スキップとか、けんけんとか、お墓参りとか、扇風機の首を追いかけたりとか、お店に並んだり、デートしたり、夜中、喉が渴いてコップの水を飲んだり、

そーゆーの全部合わせて1億8113万1982歩、です。

それが多いのか少ないのかよくわからないですけど、そう思うとずいぶん遠くへ来たもんです。振り返っても、もう何にも見えないですけど、

私 でも、ふとおもむるに（止まって）立ち止まったりして、

私 で、（歩き出し）また歩きだしたりして、

考えてみると、でもこれって元をたどれば最初は、一步、なわけ。

これまでも、これも、これからも、どこまで行っても、最初の一步の続きなわけ。

うれしくてなんか早足になっちゃったのも、

行きたくないの我慢して無理矢理歩いたのも、

全部そのあとの話だから、全部そこからはじまってるから。

だから、まずはそこから。

はい。じゃあ、行きます。

せーの、はじめのいっぽ。

私たち、ジャンプ。一斉にOUT。

ひとりだけ、舞台中央にてジャンプ。

1 はじめのいっぽ

私、着地。

はじめて立った猿のように、立つ。

私 ……（危なげな感じでかろうじて立っている）

母、IN。

母親 ……（私に気がついて）え、

私 ……

母親 え、うそ、ええ

私 ……

母親 ちよっと、ちよっと、お父さん、早く、お父さん

私 ……

父親 （外から）え？

母親 歩く、歩きそう

父親 （外から）え、何？

私 ……

母親 ほら、あっちゃん、こっち、おいで、ほらー

私 ……（足を上げる）

母親 あ、

私 (一步前へ)  
母親 あー、すごいすごい  
私 (もう一步前へ歩こうとして)  
母親 おお  
私 (こける)  
母親 ああ、  
私 (喜ぶ)  
母親 喜んでる……

父、IN。

父親 え？  
母親 ちょっと  
父親 なに  
母親 ほら、  
私 (ハイハイ)  
父親 ……普通じゃないか  
母親 ちがうの、歩いたの  
父親 え、  
母親 今  
父親 歩いた？  
母親 いいから、ちょっと見てて  
父親 え？  
私 (起きあがろうとしている)  
母親 ほら、  
私 (起きあがって、歩き出そうとする)  
母親 ほらほらほら  
私 (一步)  
母親・父親 おお、  
私 (そのまま出ていく)  
母親・父親 ああ、

父と母、OUT。

2  
デパート

新しい私、IN。

私 (後ろに向かって) おかあさん

母、IN。

私 こっち、こっち  
母親 もー、ひとりで行っちゃダメって言ってるでしょ  
私 これ(買って)  
母親 だからだーめ  
私 買ってー

母←、母のあとをついて私←

母親 こないだ買ってあげたばっかでしょう

私 新しいやつなの

母親 一緒じゃない

私 ちがうの、暗いところでね光るの、あと音がでるんだよ

母親 でるじゃない、音

私 もっと、もっといっぱいでの

母親 はいはい

私 あのステッキじゃないと変身できないの

母親 お誕生日まで我慢しなさい

私 えー

母親 じゃあ、にんじん食べられるようになったら買ってあげる

私 食べれるよ

母親 うそ

私 ほんとだよ

母親 うーそ

私 ……

母親 ほら、行くよ

私 ……

母親 また今度ね

母OUT

私 ……

私→（おもちゃ売り場に戻ってしまう）

私 （おもちゃを見つけ、うれしそうに立ち止まる）

私、しばらくおもちゃを眺めたあと。

私 ねー、おかあさ……、

母、いない。

私 ……おかあさん

私←

私 おかあさん

がやがやと他の買い物客達、IN。

私 わ、わ、

私、逃げつつ母を探す。

私 (母親を見つけて、駆け寄る) おかあさん  
他人 え？  
私 あ、  
他人 あれ、  
私 あ、あ、(逃げる)  
他人 あ、

私←(徐々にスピードを落ちてくる、とぼとぼ十きよろきよろ)  
私、立ち止まりうつむく。

私 ……

母、IN

母親 (私の頭に手を置き) もー、あっちゃん、どこ行ってたの  
私 ……  
母親 だからひとりで行っちゃダメって言ってるでしょ  
私 ……  
母親 ほら  
私 (母親にしがみつく)  
母親 なに、どうしたの  
私 (しがみついている)  
母親 えー？(自然とだっこのに移行)  
私 (素直にだっこされる)  
母親 どうしたの？

母と私、OUT

3 捨て犬

私、I N  
男子、I N

男子 ついてくんなよ  
私 しょうがないでしょ、通学路なんだから

男子→

私 ちよつと、寄り道  
男子 うっせ  
私 まっすぐ帰らないと先生に怒られるよ  
男子 (同時に) ちくんなよ  
私 (同時に) 言うよ  
男子 ほんと女子さいあく、ブス  
私 バカ  
男子 ブスブス、あほ、あほみ、中野あほみ  
私 あほみじゃないし

犬、I N

男子・私 (立ち止まり) あ、  
犬 (止まる)  
私 ……犬  
男子 ……おん(おお+うん)  
私 犬だよ  
男子 ちっちえ  
私 赤ちゃん?  
男子 子犬だろ、赤ちゃんはもっと、ちっちえーし

間。

私 ……行かないの?  
男子 なにが  
私 だって  
男子 行くよ  
私 うん  
男子 ……  
私 え?  
男子 なんだよ  
私 だって  
男子 だから行ってくて

男子←・私←・犬←

私 ……ついてくる  
男子 見んな

私 だつてついてきてる  
男子 だから見んなって  
私 でも  
私 どうしよう  
男子 知るかよ  
私 えー  
男子 うるせー  
私 ……  
男子 ダッシュ！（走る）

**男子、OUT**

私 え、待って（追いかけて走る）

**私←・犬、OUT**

私 早い

**私、立ち止まる。**

私 （後ろを確認する）

**犬→IN**

私 ！  
犬 ……

**私、恐る恐る犬の頭を撫でる。抱きつく。**

**4 飼い犬**

父親 （外から声のみ）ただいま  
私 （家の奥に）お父さん、帰ってきた！

**父親←IN**

父親 ただいま  
私 ……（外に向かつて）おかえりなさい  
父親 ……なんだ、その犬は、  
私 お父さん、お父さん、  
父親 その犬はなんだって聞いてるんだ、  
私 コロ  
父親 コロ？  
私 学校の帰りに、いて、ついて来ちゃったんだけど、  
父親 ……  
私 お父さん、  
父親 なんだ、  
私 あの、あの、飼ってもいい？

父親 ……

私 毎日、学校から帰ったら散歩に行きます。あとこれから、毎日お風呂掃除はあみがします、あと、朝刊と夕刊とってきます。だから、お願いします。

父親 ……お母さんは

私 お母さんは、お父さんに聞きなさいって…、お願いします。

父親 ……

父親 足、

私 え、

父親 足、拭いてあげなさい

私 ……はい！

父親 ← O U T

私 よかったねー！ よかった！ よかったー！ ほら、おいで！

あまり関心なく、犬 ← O U T

私 ああ！

追いかけて私 ← O U T

5 尾崎さん

犬←・私←、犬に首輪（靴ひも、タイツ？）が繋がっている。  
犬、水たまりの水を飲もうとする。

私           だめ、そんなの飲んじゃ

尾崎さん、IN

尾崎さん   あ、

私           あ、

尾崎さん   中野さん

私           あ、うん

尾崎さん   偶然

私           ね

尾崎さん   散歩？

私           うん、あれ、尾崎さん家って堤防の、

尾崎さん   うんそう、向こう、向こう側、

私           どうしたの

尾崎さん   うん、ちょっと、中野さん家の犬？

私           うん

尾崎さん   触ってもいい？

私           いいよ、怖がつてる

尾崎さん   かわいい、女の子？

私           うん、メス

尾崎さん   なんていうの？

私           コロ

尾崎さん   コロ？

私           コロコロして……ただけど、昔は、

尾崎さん   いくつ？

私           うーん、4歳くらい、たぶん、拾ってきた子だからよくわかんない

尾崎さん   そうなんだ、こっち行くの？

私           この先に公園があつて、いつもそこに行くの

尾崎さん   ……途中まで一緒に行ってもいい？

私           いいよ

犬・私・尾崎さん、OUT

6 一緒に散歩

犬・私・尾崎さん←

二人、笑いながら。

私           で、木村先生が歩いてきたんだけど

尾崎さん   うん

私           そしたら、木村先生ジャージ反対に着てんの

尾崎さん   えー

私           でも、全然気がついてないの

尾崎さん あほだー  
私 でしょ  
尾崎さん うらおもて反対って  
私 ちがうちがう、反対、反対に着てるの  
尾崎さん え、前後ろ？  
私 ううん、だから、反対  
尾崎さん ええ？ なに？  
私 上下、上下反対  
尾崎さん え……  
私 それでこうやって歩いてきた

二人、笑う。

尾崎さん おかしー、あはは、あみちゃんておもしろいね  
私 そう？  
尾崎さん あ、宿題おわった？  
私 え、  
尾崎さん ドリル  
私 あー  
尾崎さん 明日、提出だよ  
私 やばいー、尾崎さんは？  
尾崎さん あとちよっと、  
私 いいなー  
尾崎さん あ、じゃあ、あたしこっち  
私 あ、うん  
尾崎さん また明日ね  
私 うん、また公園で  
尾崎さん うん  
私 じゃねー  
尾崎さん ばいばい

犬と私←・尾崎さん→OUT

7 帰宅

犬と私←IN

私 ただいまー  
母親 （袖から）おかえりなさい  
私 （犬の足を拭きながら）おなかすいた

母親→IN

母親 おそい、どこまで行ってたの  
私 え、あ、ごめんなさい  
母親 最近、いつも。心配するんだから  
私 ごめんなさい  
母親 コロと一緒に危ないでしょう、一人でこんな時間まで

私　ちがうの  
母親　え？  
私　あのね、尾崎さんと話してたら遅くなって  
母親　尾崎さん？　友達？  
私　うん、最近仲良くなった、同じクラス  
母親　近いの？　おうち  
私　家はね、堤防の向こうの方、  
母親　なに、そっちまで行ってるの？  
私　ちがう、なんか尾崎さん、毎日こっち来てて  
母親　どうして  
私　わかんない  
母親　じゃあ、その子も危ないでしょう。もう少し早くしなさい。  
私　はいごめんなさい、今日のごはんなに？  
母親　からあげ  
私　わー  
母親　手洗ってきなさい  
私　はい

母＋犬←OUT・私←

## 8 家庭科室

私←・女子1・2・3←IN  
ハンカチ(靴下)で手を拭きながら。

女子1　ねーねー、あみちゃん宿題やってきた？  
私　うん  
女子1　うそー、よくおぼえてたね  
私　うん、まあね  
女子2　えらーい  
女子1　あたし忘れてきちゃった、どうしょー  
女子3　あたしも  
私　えー  
女子1　あみちゃん、見せて、お願い  
私　いいけど間違ってるかもしれないよ、急いでやったから

尾崎さん→IN(立ち止まり)

女子1　え？  
尾崎さん　ドリル、ちゃんとやった？  
私　……あ、うん、やったやった  
尾崎さん　みんな、家庭科室行くの？  
女子1　……うん、そうだけど  
尾崎さん　あたしも一緒に行つていい？  
女子1　え、  
尾崎さん　教科書とってくるね、ちょっと待ってて

尾崎さん→OUT

私 ……

女子1・2・3 ……

女子1 え、なに？

女子2 さあ

女子1 あみちゃん、最近、尾崎さんとよく話してるよね

私 え、そう

女子1 だってねえ

女子3 うん

私 ……

女子2 え、なんで、

私 ……なんか、なんとなく

女子2 ふーん

女子1 ……行っちゃわない？

私 え？

女子1 行っちゃおうよ

女子2 行っちゃう？

私 え、でも

女子1 行こう行こう

私 え、え、

女子1 いいよ、待たなくて

女子2 うん

私、迷っている。

女子1 (止まって) 行かないの？

私 ……だって

女子2 あみちゃん、行こう

私 ……

私←

女子1 なんて待たなきゃいけないの？

女子2 ほんと、ねー

女子1 走ろっか

私 え？

女子1 走ろうよ、だって追いつかれちゃうよ、ほら

女子2 えー

女子1 急がないと、来ちゃう来ちゃう

女子2 (笑う)

女子1 ほら、あみちゃんも、

私 あ、

女子1・2・3←OUT

私 ……

私←、思わず走り出すも徐々にスピードが落ちて歩き始める。

9 お見舞い

私←・犬←IN

私 ……ただいま（犬の足を拭く）  
母親 おかえりなさい

母親→IN

母親 早いね  
私 ……だって、早く帰って来いって言ったじゃん  
母親 そうだけど、今日は遊ばなかったの？ 尾崎さんと  
私 うん  
母親 そう、じゃあこんど遊ぶときこれ持ってって、

母親、靴箱（の中には丸めた赤い靴下）を持っている。

私 なにそれ  
母親 りんご  
私 知らないよ、そんなの  
母親 （私に渡す）いいから持ってたきなさい  
私 いいよ  
母親 なんで、お見舞いですって言えばいいから  
私 ……なにそれ  
母親 尾崎さんのお母さん入院してるんでしょう、  
私 え、  
母親 毎日お見舞いに行ってるんだってね  
私 そうなの？  
母親 そうなのって知らないの？  
私 ……知ってるよ  
母親 なにそれ、だからそれ持っていきなさい

母親←・犬←OUT

私 ……

私←

10 朝食

私←

私 ……

母親→IN

母親 おはよ、ごはん早く食べなさい  
私 お母さん、気持ち悪い

母親 え？  
私 ……熱でてる  
母親 うそ、  
私 ほんと  
母親 風邪？  
私 ……今日、学校休んでもいい？  
母親 ええ？

犬＋父親→IN、ニーソックスを首に巻きながら。  
母親、私のおでこに手を当て、

父親 お母さん、ネクタイは、黒い、  
母親 してるじゃない  
父親 これじゃなくて、もっと黒いやつ  
母親 ああ、タンスの2段目  
父親 ないよ

父親←OUT

母親 ちゃんと入れました  
私 ……  
母親 (自分に当て) あたしの方が熱い  
私 うそ  
母親 うそじゃありません  
私 でも、だるいの  
母親 学校に行けば治る  
私 お母さん、  
母親 行つてつらくなったら帰ってきていいから  
私 休む  
母親 いけません  
私 ……  
母親 行つてらっしゃい、  
私 ……  
母親 ほら、朝ご飯  
私 いらない  
母親 じゃあ、牛乳だけでもいいから  
父親 (袖から) やっぱらない  
母親 うそ

母親←犬←OUT

私 ……

私←

11 登校

男子←IN

男子 おい、あほみ、おせーよ、サクサク歩け  
私 ……  
男子 無視すんな  
私 …… 抜かせば  
男子 え？  
私 だったら抜かして行けばいいでしょ  
男子 ……

**男子←、私を抜かす。**

男子 (戻ってきて) お前、どっかわるいんじゃないの  
私 別に、  
男子 あ、宿題やってくんの忘れたんだろ、俺もやってねー  
私 あのさ、  
男子 え、  
私 あんた、なんか悩みとかないわけ  
男子 悩み？ あるよ、二学期まじなげーよな  
私 ……

**私←、男子を抜かして行く。**

男子 …… なんだよ  
私 ……  
男子 (ポケットから何かを出して私に渡す) …… ほら  
私 …… なにこれ、  
男子 練り消し(黒タイツ、もしくは黒いゴム靴ひも)  
私 え、  
男子 消しゴムのカスを集めてコネたやつ  
私 汚い  
男子 ばか、そこまで集めんのめっちゃ大変なんだって  
私 ……  
男子 こんなでかいの誰も作ってねーから、伸ばしてみるよ  
私 (伸ばしてみても) おお  
男子 な、すげーだろ  
私 うん、  
男子 おい  
私 え、何、  
男子 返せよ  
私 え、くれるんじゃないの  
男子 そんなこと言ってるねーし  
私 ……  
男子 お前なんかにやるわけねーだろ  
私 ……  
男子 早く返せよ  
私 (道に投げ捨てる)  
男子 お前ふざけんな、  
女子 (下手袖から) おはよー

私 あ、おはよー

**女子→IN**

男子 まじでぶっ殺す

女子 なに、どうしたの？

私 わかんない

男子 てめー

女子 ちよつと梅原、あみちゃんいじめないでよ

男子 いじめてねー

女子 なに、あみちゃんのこと好きなの？

私 え、

男子 ちげー、んなわけねーだろ

女子 じゃあ、あっち行けば

男子 なんだだよ

私 あ、(立ち止まる)

**男子+女子←OUT**

**尾崎さん←IN**

私 ……あ、

尾崎さん ……(一瞬、立ち止まるが)

私 おはよう

尾崎さん ……(無視して私を追い抜かす)

**尾崎さん←OUT**

私 ……(うつむく)